

2007年
11月1日
No.31

さざなみ

〒520-0043
大津市中央1丁目5-25
小堀マンション2030号室
さざなみネット
(金融労連・全国金融一般労働組合滋賀支部)
TEL・FAX 077-522-7868

金融労連近畿地協第2回定期大会 大会スローガン

金融労連の団結を強め、仲間の要求実現と職場・地域から すべての労働者を視野に組織の拡大をすすめよう！

10月20日(土)から21日(日)、金融労連近畿地協第2回定期大会が、大津市で開催され、代議員・役員・オブザーバー43名が、さざなみネットからは5人が参加しました。

富士野議長はあいさつで、「参議院選挙の結果を受けて情勢が変わりつつある。私たちの運動と結びつくなら、要求実現に結びつく可能性がある。地域内でも、きのくに・湯浅信金の合併に伴い労働組合つぶしの策動が仕組まれたが、湯浅労組は近畿地協や地域の地区労などの応援のもと、新しくパートを含め個人加盟労組の近信労に加入するなど、策動を食い止めるためがんばっている。地協もさらにいろんな面でがんばっていこう」と述べました。

大会では、2007年度闘いの総括、2008年度

運動方針、決算・予算が提案・討議され採択しました。

全単組から発言が行われ、職場の現状などが報告されました。



(裏面「大会での発言」に一部記載)

大会で選出された新四役は次の通りです。

- | | |
|-------|---------------|
| 議長 | 富士野三男(再任) |
| 副議長 | 浦野 弘(再任) |
| | 小原信夫・後藤光明(新任) |
| 事務局長 | 阿部正巳(新任) |
| 事務局次長 | 山根安則・伊藤宗孝(再任) |
| | 山崎幸雄・福井悦雄(新任) |

奥村代議員が発言 「悩みをみんなのものに」と機関紙発行 機関紙が橋渡しになって組織拡大

相談したい 本当の情報を知りたい
仲間の要望あり 組合を結成

2年前に、厳しい労働環境の中で、いろいろ相談したい、本当の情報を知りたい、そんな仲間の要望もあり、「金融機関に働く人なら誰でも自由に入れる個人



岩波美智子さん画

加盟の労働組合」滋賀金融一般労働組合をOBが中心になって結成しました。その後、昨年、愛知県の銀行労働者からの労働相談を契機として、全国組織「全国金融一般労働組合」を結成し、さざなみネット

はその滋賀支部となり、現在に至っています。

それから、あっと言う間に1年がたち先月9月25日、第2回定期全国大会を開催し、現在新しい運動方針のもと活動しています。

近畿地協第2回定期大会議案書の「組織拡大・強化の取り組みについて」と「教育・宣伝活動について」の内容を深めるため、先日の私どもの大会での活動報告や運動方針の一部を発言し、討論に参加させていただきました。



発言をする奥村代議員

アンテナを張り、仲間の声や顧客としての声を持ち寄って討議

私たちの役員はOBが中心で、片道1時間以上かかる人もありますが、毎月必ず執行委員会を開催しています。職場を離れているため、職場の実態がつかみにくくなっていますが、それぞれの条件を生かして、組合員から情報を得るとか、仲間の家に電話するとか、近くに行ったとき店によるとかして、アンテナを張って、仲間の声や顧客としての声を、執行委員会に持ち寄り職場で起きていることを討議しています。

悩みをみんなのものにするため機関紙「さざなみ」を発行

そんな中間いた悩みをみんなのものにし、またいろんな情報を伝えるには、どうしても機関紙が必要と、昨年8月から毎月2回「さざなみ」という機関紙を発行しています。そして執行委員会で出た仲間の声「職場の声」欄に反映し、趣味の水墨画や手作りのうちわの写真なども載せ、身近な機関紙になるように努めています。みんなからわかりやすくとても良いとの好評をいただいています。日本機関紙協会主催の京滋機関紙コンクールの「佳作」に続いて、先月の金融労連の大会で機関紙コンクールの発表があり、「職場の状況がわかる紙面」「読む気が起きる機関紙」として入選することができました。

機関紙を郵送 機関紙が橋渡しになって組織拡大

組合員や拡大対象者に毎月「さざなみ」を、「金融労連」「近畿の仲間」とともに郵送し、教室に努めています。また正月には「金融労連」と「さざなみ」の正月号を年賀状がわりに今年は100部余り送付しました。会った時にお礼を言われたり、電話があったりし、組合の存在を確認しています。

機関紙を郵送している仲間から、仕事の内容や賃金などについて労働相談がありました。全労連の「07春闘にあたっての要請」により、要請行動を行ったときに、その実態を聞き、本人に伝えるとともに、組織拡大に結びつける努力をしました。その他にも、先日も組合員が自宅に来られ、「若い行員と比較し、毎日投資信託の目標をつめられる。今まで我慢してきたがもうだめ。だが、私には話せる組合の仲間がある」と気を持ち直して帰られました。



また、機関紙を送っている仲間から「いろいろ心配なことがあり、組合のことを知りたい」と言っている仲間がいると聞き、本人と連絡をつけてもらい、面談し、先月組合に加入していただきました。機関紙が橋渡しになって組織拡大に結びつけることができました。

今後は、機関紙の内容の充実と、購読者の増加、情報ネットワークの拡大に努めていきたいと思っています。また、改正パート労働法が、来年4月に施行されます。パート労働の国際基準の到達点や運動に学び、教室に努力していきたいと思っています。

現在、私たちの最大の課題は組織拡大です。その受け皿の1つとして個人加盟労働組合の強化が重要になっており、全国的視野での県支部立ち上げに向けて努力していくとともに、個人加盟労働組合の合同に向け努力もしていきたいと思っています。

銀行生活の経験を生かし 若い世代への架け橋となるように

今までの銀行生活の経験を生かしながら、仲間との付き合いを継続し、少しでも仲間のため、若い世代への架け橋となるように活動していきたいと思っています。

大会での発言

投資信託は売らない
金融の本来業務に

金融商品取引法が施行され、私たちの運動が実って「投資信託は売らない。お客さんから言われた場合のみ売る。金融本業に」という方針になった。できることから少しづつでも、みんなを力に合せてがんばって行きたい。

多くの仲間
に支持される提案
意識が変化・うれしいお礼

個人情報の漏洩をめぐり、多くの仲間
に支持される提案をした。少数でも
歯止めになり、みんなの意識が少しづつ
変わってきている。「今年は、子ども
の誕生日に早く帰れた」とうれしい
お礼を言われた。

情報を集め、決算分析
組合の権威・存在感向上

少数組合であっても、労使対等で交
渉し、頭取や専務なども懇談してい
る。いろんな情報を収集、決算などを
分析し執行委員会
で討議して、なる
ほどと思うことで
交渉したり、意見
交換をし、組合の
権威を高め、存在
感を強めている。

